

慣用句その3

名前 解答

解答

問 次の文の意味の慣用句を [] から選べ。

- ① 完璧で欠点があつたくないこと。
(非の打ちどころがない)
- ② たいしたことがないと見くびること。
(高をくくる)
- ③ 不利になったり、だめになったりする原因を、自らつくつてしまうこと。
(墓穴を掘る)
- ④ いろいろと世話がかかること。
(手がかかる)
- ⑤ 相手に引け目を感じて、対等に振る舞えないこと。
(頭が上がらない)
- ⑥ 知り合いが多いこと。
(顔が広い)
- ⑦ 自分で面倒を見て、大切に育てること。
(手塩にかける)
- ⑧ 示し合わせて、同じことをいうこと。
(口裏を合わせる)
- ⑨ 物事の良し悪しを見分ける力があること。
(目が高い)

高をくくる 顔が広い 非の打ちどころがない
 目が高い 手がかかる 手塩にかける
 墓穴を掘る 頭が上がらない 口裏を合わせる

- ① 非常に驚かせること。
(度肝を抜く)
- ② おかしくてたまらない様子。
(へそで茶を沸かす)
- ③ 心待ちにすること。
(首を長くする)
- ④ 厳しく見張ること。
(目を光らす)
- ⑤ 実力や技術などが対等であること。
(肩を並べる)
- ⑥ 驚いて息を止めること。
(息をのむ)
- ⑦ 自由な気持ちで思う存分のびのび行動をすること。
(羽を伸ばす)
- ⑧ 強く感動させること。
(胸を打つ)
- ⑨ 期待や興奮でわくわくすること。
(胸が躍る)

度肝を抜く 羽を伸ばす 肩を並べる
 へそで茶を沸かす 胸が躍る 胸を打つ
 首を長くする 息をのむ 目を光らす